

最新の情報

2010年7月11日 アシェル・イントレーター

クリスチャンに対する迫害

コンパス・ディレクト・ニュース(Compass Direct News)は世界中のクリスチャンに対する迫害を監視していますが、今週インドネシア、西ジャバのベカシ(Bekasi)にあるイスラム教団体が地域のモスクに民兵組織と「キリスト教に改宗させようとする試み」に対抗する「宣教センター」を設立するという宣言を行ったことを報道しました。

コンパス・ニュースはまたモロッコ当局が先週さらに8名の外国人クリスチャンを国外退去させたことを報道しました。モロッコは継続して自国から宣教師を排除しており、この3月から合計128名のクリスチャンを退去させました。

パキスタンのジェラム(Jhelum)に住むイスラム教のある一群が、先月あるクリスチャンの妻と4人の子どもたちを殺しました。 Punjab州の警官であるジャムシエド・マシ氏(Jamshed Masih)は、この一群はイスラム教宗教指導者であるマフーズ・カーン(Mahfooz Khan)によって率いられていました。カーンはこのクリスチャンを地元のモスクに呼び出し、大部分はイスラム教の居留地であるこの地から出て行くように伝え、その後彼の家族を6月21日に殺害したと述べました。ジェラムはイスラマバードから南は85キロ(53マイル)にあります。

メディアの大半や、公民権運動家たち、諸国のキリストの体は、福音主義的クリスチャンに対する迫害はほとんどイスラム教下の諸国で起こっていることをあまり理解していません。上記3件、インドネシア、モロッコそしてパキスタンの事件は、イスラム教聖戦主義者らがそれぞれの国からクリスチャンを追い払うための組織的、世界的、意図的、殺意に満ちた行為のほんの一例なのです。

諸国の福音主義的クリスチャンに対する迫害とイスラエル国家に対する攻撃には深いイデオロギー的なつながりがあります。イスラム教聖戦主義の根本的な思想の一部にはイスラエルとキリスト教を破壊することが含まれます。手遅れにならない内に私たちが目を覚ましますように！

イスラエルでのオバマ大統領へのインタビュー

木曜日、イスラエルのテレビ局はチャンネル2の第一人者である総合司会者、ヨニット・レヴィ(Yonit Levy: 女性のトップ司会者)はアメリカ大統領であるオバマ氏をインタビューしました。インタビューの中でオバマ大統領はイスラエルの人々に直接語りかけ、イスラエルとアメリカの関係を改善させ、昨年イスラエルの中で下がってしまった自分に対する信頼を回復させると述べました。

彼は、シオニズム運動とアフリカ系アメリカ人の公民権運動に関する苦悩とを比較させ、自分にはイスラエルとユダヤ人に対する生涯に渡る深い関与があると述べました。彼はまたユダヤ人の「ディクーン(訳注:ヘブライ語で回復、修繕という意味)」すなわち世界の回復という概念を感謝しているとも述べました。

彼は、ネタニヤフ首相は平和をもたらすことのできる指導者であり、首相が「ハト」であるとは認識されておらず、重要な交渉を改善させる機会があるのではないかと自信を表明しました。彼自身とネタニヤフ首相との間の緊張は誇張されたものであり、彼らの会談は非常にすばらしいものであったと述べました。彼はまたイランが核兵器を手に入れることはまったく受け入れることができず、彼はまた、イランの核武装を何とかして止めることは検討されるだろうと述べました。

インタビューはまれな手段でした。あるイスラエル人ニュース解説者らは、このインタビューは、11月に行われる中間選挙を控え、アメリカにいるユダヤ人投票者に対して彼の立場を改善させるための試みではと感じました。いずれにせよ、このインタビューは、肯定的なアメリカ-イスラエル間の関係をメディアに示したものでした。

ルパート・マードック氏へのインタビュー

今週のもう一つのまれなインタビューは、メディア王であるルパート・マードック氏とヘブライ誌の「マアリヴ」とのものでした。マードック氏は「ウォールストリート・ジャーナル」と「フォックスニュース TV」両方のオーナーです。彼は、大半はニュースメディアの未来について語りましたが、中東について少し述べました。

「あの船団の件についての報道はひどいものだったと私は思う。イスラエルはまったく正当であった。特にヨーロッパでの報道はほぼ反ユダヤ主義的なものであり、我々の報道はそうではなかったが、他の報道機関はそのように伝えた。イスラエルが行うすべてのことに報道機関は反するのだ。」

「ネタニヤフ首相は私の古い友人だ。首相として彼はオバマ大統領と共に断固たる態度を取らなければならない。ネタニヤフ首相は二国分割による解決の用意があるが、彼は、ハマスがイスラエルを破壊したいと言っている間はパレスチナ国家は認めないという。それはまったく常識的なことだ。」

ニュースメディアは世界中の人々の対し、正しいこと、間違っただけを理解する、事実を理解する、そしてそれぞれの信仰に対しても大きな影響力があります。報道機関にいる人々が事実に基づき客観的に報道することができるように祈るのは価値があることです。マードック氏は最も影響力のある人物の中の一人です。

踊るイスラエルの兵士たち

ここに今話題となっている、ヘブロンをパトロール中に踊る2分間のイスラエル兵たちの動画です。兵士たちは冗談のつもりで撮影しました。イスラエル軍は彼らに規律に対する訓戒を行おうとしましたが、この映像は広く視聴され実際肯定的な反応を得たのです。いずれにせよ、この映像はイスラエル兵たちに関する秘められた真実を示しています。すなわち、彼らは怪物ではないということです。彼らは軍務に真剣に取り組んでいる一方、彼らはまだ高校から卒業したばかりの子ども達の集団であり、世界紛争の間に挟まれるよりは楽しんだ方がいいと思っているのです。映像を見るにはこちらをクリックして下さい。http://www.youtube.com/watch?v=Qren0MkX_aI

YHVH の御使いとしてのイエシュアに関する本

どうか、今週数日かけて新しい英語による本の第一稿を書くアシェルのためにお祈り下さい。その本は、ヘブライ聖書(訳注:旧約聖書のこと)に現れるイエシュアと、ユダヤ人とクリスチャン両方の思想に変革を起こすその暗示的な意味合いについて書かれます。

カツィル青年会議

今週ガリラヤで行われるカツィル青年会議のためにお祈り下さい。エイタン・シシコフ師による指導により、いくつかの地元のイスラエル人牧師らが協力して行います。私たちのスタッフやコングリゲーションも同様にこの会議に参加します。アシェルは次の日曜日に教える予定です。